

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

- ・生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付ける。
- ・生活と技術の関わりについて理解を深める。
- ・進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

2 年間学習計画と単元(題材)

学期	題材名・単元名	学習内容
1 学期	【C エネルギー変換の技術】 ・生活や社会とエネルギー変換の技術 ・エネルギー資源の利用 ・製作のための技能	・生活や社会を支えるエネルギー変換の技術／身の回りにおけるエネルギー変換の技術 ・エネルギーの利用／燃料を利用した技術／発電と送電のしくみ／エネルギー変換効率と省エネルギー 【エネルギー変換 製作実習】 ・電子部品についての知識／はんだ付け／組立て／動作確認
2 学期	・エネルギー変換の技術による問題解決 【D 情報の技術】 ・生活や社会をと情報の技術 ・情報とコンピュータ 【C エネルギー変換の技術】 ・電気の利用	【エネルギー変換 製作実習】 ・生活や社会を支える情報の技術／身の回りにおける情報の技術 ・コンピュータの構成／コンピュータの機能と装置／コンピュータを使って機器を動かすしくみ／コンピュータによる処理のしくみ／プログラムの構造と表現 ・双方向性のあるコンテンツによる問題解決 ・計測・制御による問題解決 ・電気エネルギーの特徴/光や熱に変換するしくみ/動力や音・信号に変換するしくみ/電気回路と回路図/電気機器の安全な利用/電気機器の保守点検
3 学期	・運動の利用 ・これからのエネルギー変換の技術 ・学習のまとめ	・力の伝達／動きを変化させるしくみ／力や運動を保存するしくみ／部品の固定と共通部品／機会の保守点検 ・エネルギー変換の技術の学習をふり返ろう

3 評価方法

各 観 点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・ 定期考査・製作物・授業観察 ・ 振り返りフォーム等への記述
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・ 定期考査・製作物・授業観察 ・ 振り返りフォーム等への記述
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	・ 授業態度・作業の様子 ・ 授業観察

4 授業の取組についてのアドバイス

- ・ 技術の授業では、何気ない作業の1つ1つの中にも自分で課題を見付け、自ら考えて工夫しながら作業を進めていくことが大切です。例えば、はんだごてで基板に電子部品を取り付けていく場合、こて先の当て方やはんだの流し方、こてを離すタイミングなど、さまざまなことをよく考え、試行錯誤をくりかえしながら作業を進めていくことが重要です。
- ・ 普段から授業の説明をよく聞き、重要だと思った点があれば、指示がなくても自らの判断でノートに書き留めるなどの積極的な姿勢が必要です。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・ 技術科では、家庭での予習は特に必要ありません。そのかわりに、その日に学習した授業内容をよく思い出して、復習をしっかりするように心がけてください。

6 定期考査前の取組についてのアドバイス

- ・ 技術の試験問題には、実習時に説明した作品製作上のポイントや注意点などが多く出されます。
- ・ 授業で使用したプリントや授業ノート等を中心に復習するとともに、教科書の関連する部分にも目を通しておくようにしましょう。

7 苦手な人の取組についてのアドバイス

- ・ 技術の製作実習で重要なことは、集中して丁寧に作業に取り組むことです。この点によく注意して、先生の指示を守って取り組めば、必ず良い作品を仕上げることができます。あきらめずにがんばって取り組んでください。